

## 益田市スポーツ推進審議会概要

会議名	令和3年度益田市スポーツ推進審議会
日時	令和4年3月23日（水） 14:00～16:00
場所	市民学習センター 2階 202号室
出席者名	<b>【審議会委員】</b> 安藤委員、大賀委員、村上委員、寺戸委員、岸委員、日高委員、下脇委員 <b>【協働のひとづくり推進課】</b> 大賀主任主事 <b>【欠席委員】</b> 柴田委員、波田委員
議題	(1) 中学校部活動の今後について
協議内容	<b>(1) 中学校部活動の今後について</b>  〈大賀委員〉 ・前回の会議に引き続き、中学校の部活動のあり方について意見交換を行いたいと思う。この場で具体的な方針は決定できないが、益田市の進みたい方向性は出せたら良いと思う。 ・中体連として、今回の文科省が発表した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」をどのように考えているのか教えてほしい。  (寺戸委員) ・別紙資料 説明 ・益田市内の学校教員の中にも部活動をやりたい人もいるし、そうでない人もいる。今回の文科省の発表を受け、先生方の中で2極化すると思う。浜田市では全教員に対しアンケートを実施したとのこと。  (安藤委員) ・中体連や大会の開催の有無によって、子ども達の運動をする機会やスポーツ好きな子どもが減っていくのではないかと危機感を改めて感じた。  (寺戸委員) ・前回会議の中で民間の総合型スポーツクラブが受け皿になると良いという話も出たが、選手としての育成と、スポーツに親しむという2つの兼ね合いも課題となってくるだろう。  (大賀委員) ・受け皿となりえるスポーツクラブの運営体制も課題となってくる。 ・来年度から総合型スポーツクラブの認証制度が始まる予定。認証されたクラブから受け皿とすることを見越しての制度ではないかと考えている。

(日高委員)

・都会では児童、生徒数が多く総合型スポーツクラブとして運営できるだろうが、益田市となると範囲が広く、子ども達の送り迎えが必須になる。子ども達はスポーツをしたくても、親の送迎の関係で参加できない等の課題も出てくるだろう。

(下脇委員)

・現在の益田市では生徒数の問題でやりたい部活動のある学校を選んで市内の大きな学校へ通学している生徒もいる。総合型スポーツクラブとなれば通学する学校は関係なくなるので、小規模校から大規模校への移動も減る可能性がある。

(大賀委員)

・剣道や柔道は部活動として行っている学校は益田市には無い。少人数の部活動から、徐々に社会体育に移行していけば保護者の理解を得ることができるのではないかな。

(日高委員)

・体育施設を運営していて、バドミントンはとても人気がある種目だと感じる。中学生が休みの日に遊びによく来ている。  
・もし社会体育になった場合、指導者が日によって変わったり場合によっては仕事の都合で参加できないこともあるかもしれない。また、指導者の中には競技選手としてトレーニングをしていない人もいるかもしれない。そんな状況が中学生のモチベーションにも影響してくる可能性がある。

(大賀委員)

・第1回会議の話と同じになるが、スポーツ協会に加盟している団体に対し丁寧に説明をして、少しずつ広げていくしかないと思う。  
・文化部の状況はどうなっているかな？

(寺戸委員)

・文化部として活動しているのはブラスバンドと美術部くらい。  
・匹見では琴や太鼓を外部講師と共に活動している。

(大賀委員)

・文化部に関して、コンクール等で金銀銅を目指すだけでなく、一緒に音を合わせる楽しさや聞いてもらえる事へのやりがいなどを学ぶ部としても良いのではないかな。そうすると文化施設であるグラントワも受け皿の1つになりうると思う。

(岸委員)

・吉田小学校に関しては楽器の補修や新調のための資金が無く活動できなくなったと通知があった。  
・隠岐では卓球部が無く島根県の大会でも参加がここ数年無かった。しかし、Iターンで来た人が子ども達を集め卓球をクラブとして始めた。その中で島根県の大会でも活躍する選手が出てきた。益田市でもいろいろなスポーツや文化活動に触れることで熱中し活躍する子どもが出てくる可能性があるため、機会だけは残していきたい。

(大賀委員)

- ・繰り返しになるが、みなさんの意見を聞き、外部に任せることができる部から始めていくことが益田市では良いと思う。そのためにも競技種目、団体、協会等に現状を聞き取りをはじめ、学校にも現状を聞かなくてはならないと思う。
- ・引き続き令和5年度に向けてみなさんと協議していきたい。

(2) その他について

〈事務局〉

- ・本日の皆様のご意見を基に事務局内で整理しお返りする。